

統合準備委員会ニュース第6号

平成14年(2002年)11月5日発行

竹見台小学校・南竹見台小学校統合準備委員会

委員長 田辺妙子

統合によってより良い教育環境づくりが実現できるように、 統合準備委員会で協議した内容を文書にまとめて教育委員会 に提出します！

10月30日(水)第7回竹見台小学校・南竹見台小学校統合準備委員会を開催しました。統合準備委員会では、これまで「統合後の新しい学校づくり」と「統合後の学校施設の整備」を中心に協議を行ってきましたが、その内容を文書にまとめて教育委員会に提出し、教育委員会が統合を進めるにあたって、その内容が十分尊重されるよう求めています。

意見書(案)のおもな骨子は次のとおりです。

1 統合後の新しい学校づくりについて

- ・これまでの小規模校の良さを生かしながら、さらに統合によるメリットが大きい学校にすること。
- ・小中一貫教育を推進し9年間を見通したより効果的な指導のあり方を研究するとともに、市内各小・中学校に情報を発信するモデル校づくりが行われること。
- ・教育委員会事務局より小中一貫教育の具体的な取り組みとして提案された内容(統合準備委員会ニュース第5号に骨子を掲載)が実践されること。

2 統合後の学校施設の整備について

- ・統合後の学校施設については、大規模な改修や整備を行い、子どもたちが新たな気持ちで学校生活を送れるよう教育環境の整備を行うこと。
- ・子どもたちができるだけ伸びやかにゆったりと過ごせる空間を確保するとともに、安全面への配慮や小中一貫教育を推進するための整備が十分に行われること。
- ・教育委員会事務局より具体的な整備内容として提案された内容(統合準備委員会ニュース第5号におもな内容を掲載)が実施されること。

3 統合後の学校の校名について

児童・生徒・保護者の意見をアンケート調査し、その結果を踏まえて次回の統合準備委員会で決定した後、文章で盛り込む。

4 統合実施に伴うその他の要望

(1) 地域諸団体の活動への配慮について

- ・一定の移行期間を設けながら、活動が縮小化することなくスムーズに組織の統合が進められるように引き続き行政の支援と配慮が行われること。

(2) 跡利用について

- ・ 学校施設が竹見台地域の中心にあり、地域における身近な公共施設であることから、地域の生活や学校の教育活動と密接に結びついた跡利用が行われること。

この意見書(案)について、委員から「意見書はどれくらい効力があるものなのか。今回の案が100%とは言えないにしても十分反映される必要がある。効力のある形で出したい。」という意見が出され、教育委員会事務局からは「契約のような形はとれないが、要望書とは比較にならないくらい重く受け止める。実施については最大限の努力をする。」との回答がありました。また、内容に関して「新しい教育内容が将来的にもずっと継続して行われるのかどうか心配である」「プール移設の年度を盛り込むことができないか」「プールについては、学校施設改修が終わった時点で、南竹見台小学校の体育館を屋内プールのような形で改修してはどうか」「中学校の施設の整備も必要ではないか」などの意見が出されました。学校からは、現在の各学校における取組みや進捗状況などについて報告がされました。

統合後の小学校の校名を考えてください。

児童・生徒・保護者へのアンケート調査を実施します！

統合後の学校の校名をどのようにして決めるかを協議しましたが、「子どもたちの意見も聞いて決める必要があるのではないか」との意見が出され、小・中学校の児童・生徒・保護者へのアンケートを実施することになりました。たくさんの案をお寄せください。

次回の統合準備委員会では、意見書(案)の内容について引き続き検討し、アンケート調査の結果を踏まえて決定した校名も盛り込んでまとめる予定です。次回の統合準備委員会は、11月13日(水)午後8時より開催する予定です。

なお、10月17日の第6回統合準備委員会で、両小学校のPTAから「30人学級制導入についての要望」が教育委員会に出され、教育委員会からは10月25日のPTA委員への「統合後の学校の教育内容」についての説明会の中で、少人数授業や高学年への教科担任制などの新しいシステムの導入により基礎基本の定着や学力の向上に取り組んでいくことなどの回答がされました。

11月16日(土)に地元説明会が開催されます！

教育委員会は、4月の説明会以降の検討経過や統合後の学校についての考え方などを保護者や地域に説明するために、11月16日(土)に地元説明会を開催します。

- ・ 日 時 11月16日(土)午後3時～午後5時
- ・ 場 所 竹見台小学校体育館